

私の住む町

自慢の茶屋町

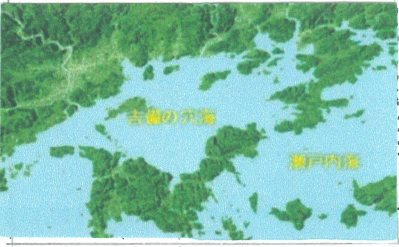
新聞

発行日 8月18日

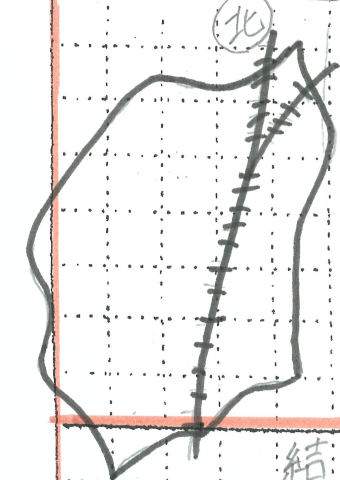
松浦優来

1 茶屋町の歴史

茶屋町の歴史は、千石の歴史です。四百年ほど前まで、当地周辺一帯は完全に海に囲まれていました。吉備の穴海と呼ばれていました。



近世に徐々に陸地化されていき、陸地化しました。その後穀倉地帯として米・麦の栽培が盛んに行われてきました。岡山城下町との行き来道のときの休憩所として利用する商売が町並みを作りしました。



2 茶屋町といえば鬼!

茶屋町は昔から毎年、秋まつりに鬼の面を被った市民が派手に衣装類にこん孫をもち夕飯の鬼が町をあるまわりまわります。



通称「茶屋町の鬼」と呼ばれ、稲荷神社と住吉神社の秋祭りに二百年以上前から登場したものとされています。



上 = 稲荷神社
下 = 住吉神社

昭和三十年代と四十年に一時衰退するが昭和50年に保存会が結成され復活しました。

田んぼ保存会

3 磯崎眠亀さん

磯崎眠亀さんは花笠製造業の実業家、そして発明家でした。

現倉敷市茶屋町生まれです。



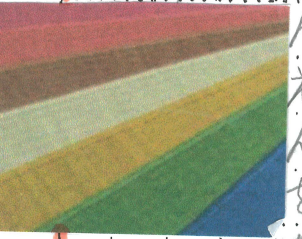
眠亀さんは家で研究を重ねて明治十一年に他の類にないきりいなきんかんえんを発明し、その後、英語や米国などの輸出の敗路を開拓し日本の重要な出品まで成長させ成こうをおさめました。



世界的にも有名に

有名に

明治十一年に岡山特山のイ草を使ったもんかんえんを苦心の末に完成させたこととで世界に名を知られました。



4 石井優希選手

岡山県倉敷市出身! 母親がバレーをしていたことがえいさようで、小学校2年生の時からバレーをはじめました。



女子日本代表(バレー)

として話やうしています。

春にイナバウナでやなてーは、校でやなてーは、高バレーに出場し、実高バレーも年、就高タも年

主将

今は

編集記事

私が知らないこととたくさんありました。これまでも茶屋町を守ってきた人がいるから、茶屋町を守って、いかなければいけないと分かりました。この新聞におさめられなかったこととおぼえておきたいです。そしてこの新聞をたくさん読んでいる人に見てもらいたい。この自慢の茶屋町をみんなで見守っています。